

株式会社ジェイコム埼玉・東日本 熊谷・深谷局 放送番組審議会 議事録

<放送番組審議会委員>

| | | |
|----------|---------|---------|
| 大久保 和政 様 | 岡部 美雪 様 | 笠原 毅様 |
| 栗原 和江 様 | 栗原 啓 様 | 長谷川 泉 様 |
| 横山 晋一 様 | | (50音順) |

※審議委員全7名様から書面による審議を頂きました。

2021年度の放送番組審議会は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、番組審議会委員と事業者との対面での審議は実施せず、事業者側より放送番組審議会委員に対して書面をもって現況報告及びJ:COMチャンネルの取り組み、放送実績について報告を行い、審議委員より書面にてJ:COMチャンネルに対して、意見、要望を頂戴致しました。

意見書の集約および回答については、「株式会社ジェイコム埼玉・東日本 熊谷・深谷局」および、番組制作担当部署、「JCOM株式会社 映像制作第一部」により、意見の拝受および内容の検討・審議の上、ご回答させていただきます。

<回答者>

| | |
|------------------------|-------|
| 株式会社ジェイコム埼玉・東日本 熊谷・深谷局 | |
| 局長 | 石渡 一樹 |
| 管理部長 | 石倉 康浩 |
| 地域プロデューサー | 伊東 毅 |

JCOM株式会社 J:COMプロダクション本部 映像制作第一部
埼玉ニュース報道グループ マネジャー 大橋洋一
埼玉ニュース報道グループ 拠点長 二宮正季

番組制作について各委員様からの審議結果

■問1:レギュラー番組「LIVE ニュース」をご覧になって、ご意見・ご感想・課題・改善案などお願い致します。

◇ご意見・ご要望

【大久保委員】

- ・スタジオを飛び出して「まちなか」で放送することだけで市民は親しみを感じるでしょうか？
放送中は人の行き交う光景はみられませんでしたし…。屋外から放送することによる効果や屋外だからこそその放送というものを検討していただいたほうがよいのでは？

【事業者(二宮)】

- ➡ ご指摘の通り人の行き交う光景も必要だと思いますので今後は人流が分かるキーステーションでの放送を実施するために準備していきます。

【岡部委員】

- ・スタジオから出て、現地に行き、生の声を聞ける事がとても良いです。
- ・あやめさんが上手く、マイクを向けて質問し会話のキャッチボールがとても良いです。
- ・お話が上手い方もいますが、緊張から、言葉が出てこない方もいらっしゃいます。
でも、だからこそ、伝わる言葉もあります。
- ・生放送は“ワクワク感”がたまりません。

【笠原委員】

- ・「まちなか」から生放送することで、ライブ感が感じられました。また、視聴者が求めている情報をタイムリーに取り上げており、視聴者にとって身近な番組であると感じました。

【栗原(和)委員】

- ・大変好感が持てました。現地からの生放送は背影から季節感も伝わり、地元ならではの内容と共に、地元担当者の出演・キャスターとのやりとりが良かったです。
- ・キャスターのマスク着用についてですが、キー局では、ほとんど(TV 東京以外)キャスターはマスク着用をしておりません。屋外の中継では密もさけられますし、感染防止対策はスタッフ皆様は万全だと思います。キャスターの表情が見える事は大切だと思います。

【事業者(二宮)】

- ➡ ご指摘の通り表情が見えた方が良いですが、当社における感染対策基準のもとマスクを着用しております。今後は新型コロナの感染状況によって臨機応変に対応致します。

- ・キャスター衣装、提供頂ける店舗があるといいですね。山本氏着用の上田礼子先生手織りは良かったです。ひと言あってもよかったかもです。

【事業者(二宮)】

- ➡ 衣装や小物などもフリートークで触れるなど視聴者により親近感を持っていただける話を盛り込んでいければと思います。

【栗原(啓)委員】

- ・地域の情報をしっかりと伝える番組は貴重です。長く継続していただきたい。

【事業者(二宮)】

- ➡ 地域情報をしっかり発信することが、コミュニティチャンネルの使命でもあるので、その点にはこだわって放送していきます。
- ・気になった点としては、画面の移り変わりにおいて少し間があるのを感じました。見る方の年代など傾向があるとおもいますが、最近では、YouTube など、間を取らない動画が多くなっていると思います。テンポを速くするのも良いかもしれません。
- ➡ ご指摘のようにテンポに関しましては視聴年代や番組のテイストもございましてもう少し間を詰めていけるように対応できればと思います。
- ・コーナーの変わり目など、テロップもあり見やすいところもありました。
- ・告知も重要ですが、取材など「今」の情報も増やして頂き、視聴者が行けなかったイベント、今行けるイベントなど、情報を得られると良いと感じました。

【長谷川委員】

- ・山本アナウンサーの丁寧な説明が聞き取りやすかったです。
- ・地元の身近な情報が動画のニュースとして流れると、とても新鮮に興味を持ってみられるので良いと思います。
- ・自治体職員や地元の人などたくさんのゲストが登場するのも話題豊富で飽きることなくみられて良いと思いました。また、地元の人が登場することにより、「地域の番組」であることがより感じられると思いました。
- ・全体的には、もっとメリハリをつけた構成やインパクトのある演出を加えることで、より魅力のある番組になると感じました。
- ➡ テロップ・中継・VTRなどを織り交ぜて画面に変化をつけ、視聴者にとって印象に残る演出をすることでメリハリをつけるように対応致します。
- ・是非、今後も熊谷市の情報をより多く流していただければ幸いです。

【横山委員】

- ・JCOM の新たな企画となる「LIVE ニュース」は、視聴者が知りたい「今」を、スタジオを飛び出して生中継にてライブ配信されることで、とてもリアル感があり、また新鮮味を感じました。
- ・地域コミュニティを重視するケーブルテレビの強みを活かした取組とも言え、これを更に充実化させていって頂ければ良いと考えます。
- ・出来れば徹底したコロナ感染予防対策を講じ、MC の方や出演者の方にはマスク未着用の方が、良いかも知れないと感じました。それは、口元が見えることで発言内容が視認でき、視聴者には更に判り易く、正確に情報が伝えられるように思えたからです。

【事業者(二宮)】

- ➡ ご指摘の通り表情が見えた方が良いですが、当社における感染対策基準のもとマスクを着用しております。今後は新型コロナの感染状況によって臨機応変に対応致します。

■問2:レギュラー番組「埼玉の逆襲」をご覧になって、ご意見・ご感想・課題・改善案などお願いいたします。

◇ご意見・ご要望

【大久保委員】

- ・埼玉愛の詰まった番組だと思います。埼玉県民はもとより全国の多くの皆様にご覧いただき、埼玉をもっと知っていただくいい機会(番組)だと思います。

【岡部委員】

- ・ビビる大木さんの進行がとても楽しい。
- ・県知事まで巻き込み、Tシャツまで着させてしまうものすごい強引さが元気をもらえる。
- ・知事のカラフルなジャケットがまたよくお似合いで知事の好感度も増しました。
- ・私も深谷 T シャツで出演させて頂きましたが、深谷代表として胸を張って、撮影して頂きました。とても誇らしい作品となりました。いつでもお声かけて下さい。
- ・ビデオレターも出演させて頂きましたが、ビビる大木さんにはトークが上手いと誉めて頂き、ご覧になった方には、おもしろい、おもしろいと大勢の方にお声をかけて頂きました。

【笠原委員】

- ・私たち埼玉県民にとって同感できる、うなずける番組内容であるとともに、埼玉県民以外の方にとっても埼玉県を知るうえで楽しく視聴できる番組であると感じました。

【栗原(和)委員】

- ・気になったのは大野知事に視点・観点を置かれていたのか、というところです。150周年の主役は、埼玉県民皆様だと思います。

【事業者(二宮)】

- ➡ 埼玉県民にスポットを当てた視点・観点からの企画も別の放送回で実施しています。
- ・埼玉県が好き、住みやすい、衣食住、教育、防災(災害がすくない)様々な理由から埼玉を選ばれた県民もいらっしゃると思います。埼玉県のここが「日本一！」(沢山ありますよね)を取材して欲しいです。

【事業者(二宮)】

- ➡ 今後、埼玉の日本一特集などの実施も検討致します。
- ・他を拝聴しておりませんので、頂いたDVDのみでの感想となり申し訳ありません。

【栗原(啓)委員】

- ・テンポ良く、楽しく拝見させて頂きました。
- ・埼玉全体の動き、出来事として、埼玉県民であることを前向きに捉えながら見る事が出来ました。

【長谷川委員】

- ・ユーモア溢れる思い切った番組作りに好感が持てました。某漫画で話題になったという流れをくみ、もっと振り切ったテーマやリアクションを入れるなどしてもよいかもしれません。(漫画のセルフをもじってリアクションする、デイス、など)

【事業者(二宮)】

- ➡ テーマやリアクションについては、番組のテイストに合わせて検討致します。
- ・テレビ埼玉やFMラジオ局(NACK5、各市町村のFM局など)など他局とコラボして、新しい埼玉の魅力を発見する・見つけた魅力を各局がコンペする・クイズ問題にするなど、相互的に盛上げていくと埼玉全体として活性化するのではないかと思います。
- ➡ 埼玉の他のメディアとコラボした実績もございます。今後、継続してご指摘のような取り組みを実施していきます。

【横山委員】

- ・番組タイトルが「埼玉の逆襲」と言う、衝撃性を感じるものであるが、内容は「埼玉 150周年」を記念した、ご当地紹介のバラエティ番組であり、埼玉県民にとっては親しみやすいものを感じました。
- ・今回視聴対象となったものが、11月14日(県民の日)の公開放送のものでしたが、とても

判り易く、また、埼玉県全体を盛り上げようとする姿勢が窺えました。コロナの情勢が落ち着けば、大野知事にも公務の合間を縫って市町村巡りを精力的に行って頂き、生での県民とのふれあいなどが構成に組み込めれば、一層良いと思えました。

【事業者(二宮)】

➡ 埼玉の他のメディアとコラボした実績もございます。今後、継続してご指摘のような取り組みを実施していきます。

■問3. DVD「コミュニティチャンネルの取り組み」、そして関連資料をご覧いただき、弊社の取り組みについてご意見をお願いいたします。

◇ご意見・ご要望

【大久保委員】

- ・「ど・ろーかる」のコンセプト通り地域ならではの情報を発信し、テレビ放送界のすきま産業的役割を努めていると思う。
- ・再放送が多く見受けられるため、最初がいいが、時間が経つにつれて情報の新鮮味が薄れてくる。全体的によりライブ性を高めたタイムリーな情報提供に努めていただきたい。

【事業者(二宮)】

➡ LIVE ニュースを開始するなど街のいまを伝えタイムリーな情報を伝えるチャンネルとして番組制作を行ってまいります。

災害時なども地域の情報発信に努めてまいります。

- ・スポーツによるまちづくりを推進する熊谷の放送局として、スポーツを観て楽しむ市民を増やすためにも、熊谷スポーツコミッションや熊谷市スポーツ観光課、ラグビータウン推進室と連携してスポーツ観光に関する情報発信を随時提供していただきたい。

【事業者(二宮)】

➡ ラグビー、BC リーグなどを含めてスポーツ観光に関する情報発信は、積極的に実施してまいります。

【岡部委員】

- ・コロナ禍であり、以前のようにできない事も多いと思います。なかなか県外へ出る事もできないので、だからこそ、埼玉県内のニュースや魅力をどんどん発信して頂きたいです。
- ・「埼玉の逆襲」はまさに、この時だからこそその番組で良かったと思います。
- ・「世界埼玉化計画」

とても壮大ではありますが、埼玉県民が改めて県の良さを知り、誇りに思い、明るくなれる、笑顔になれる番組だと思います。

- ・「ど・ろーかる」をコンセプトにした、J:COMさんの放送は、私たちにクスクスと笑いを運び、笑顔にしてくれる。緊急時には、最新な情報も発信してくれる、一番身近なコミュニティチャンネルです。
- ・こんな時だからこそ、地域に根差した番組が必要なのだと思います。いつでも協力させて頂きたいです。よろしくお願い致します。

【笠原委員】

- ・コミュニティチャンネルとして地域のイベントや地域情報の発信はもとより、新型コロナウイルス関連の最新ニュースを提供するなど、視聴者に寄り添った番組制作をされていることが伺えました。今後も地域に密着し、視聴者に愛されるテレビ局であることを期待します。

【栗原(和)委員】

- ・地域密着の同チャンネル、素晴らしいと思います。熊谷花火大会でのドローン撮影など最新技術も駆使され見応えがありました。
- ・選挙速報もかかせない情報ですね。
- ・「ど・ろーかる」における番組内容は、よく考えられており、関心も高いのではないのでしょうか？アプリ活用により視聴者も気軽に見られるところも優れています。
- ・番組シリーズもの、例えば「神社仏閣シリーズ」「老舗(100年以上)シリーズ」など取材もおもしろいかと思います。

【事業者(二宮)】

- ➡ 地域の歴史をアーカイブ映像として残していくこともコミュニティチャンネルの役割ですので取材・放送を通じて素材を蓄積していければと思います。

【栗原(啓)委員】

- ・地域の情報、イベントなど発信していただけるのは、とても貴重なチャンネルだと思います。とても貴重なチャンネルだと思います。
- ・難しいのかも知れませんが、地域の行政の活動や政治が市民に届くと良いと思います。

【事業者(二宮)】

- ➡ LIVE ニュースやWEEKLYトピックスなどの番組を通して行政情報の発信もしっかり実施していきます。

【長谷川委員】

- ・画面下のテロップ文字が小さかったので、テレビから離れて見ている場合や、小さなテレビだ

と見づらいと感じました。県が発表した資料などをそのまま使用するのではなく、必要に応じて文字を打ち直すなど、見やすさの面で工夫した方が良いと感じました。

【事業者(二宮)】

➡ テロップのフォントや大きさについては改善しており、情報は必要に応じて打ち直すなど対応しております。

・他のメディアでは見られない地元チャンネルならではの身近で充実したコンテンツに非常に魅力を感じました。今後も SNS をはじめ、県内外で話題になるような番組作りを、また、視聴者の地元愛を育む番組作りを期待しています。

【横山委員】

・コロナウイルスに伴うシークレット花火の情報ははじめ、視聴者が今必要としている情報提供がリアルタイムに詳細に伝えられており、JCOM が地域ネットの放送局である基本姿勢の取り組みが十分に理解できました。今後とも、視聴者の要望やご意見も重視されながら、常に点検と評価を実施し、地域の人々と共にある放送局として発展されることを大いに期待を致すところであります。

以上